

第12回東日本大震災ボランティア

宇都宮大学、まだまだ続く災害ボランティア「お話聞き隊」

宇都宮大学では、6月24日（日）に災害ボランティアとして、昨年度から実施している宮城県亶理郡亶理町地域の方とのお話、聞き取り調査を行いました。

学生たちは、朝、亶理町コミュニケーションサロン「亶理いちごっこ」でのミーティングの後、数人ずつのグループに分かれ、「亶理お話聞き隊」として、仮設住宅にお住まいの方から仮設住宅の状況等について聞き取り及び物資の配布手伝いを行いました。

参加した学生達は、疲れも見せず、無事に大学へと帰ってきました。今回の聞き取りなどで、震災から1年以上が過ぎた現在も、まだまだ被災地ではボランティアが必要であると確信し、今後さらに被災地支援を継続していきたいと感じていました。

